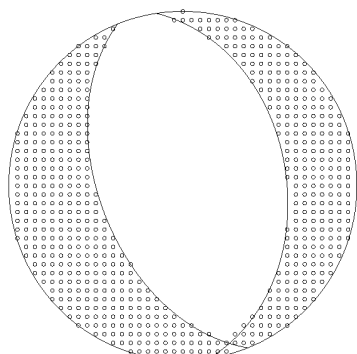


11月25日 ペルー／ブラジル国境の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

W-phaseによる解

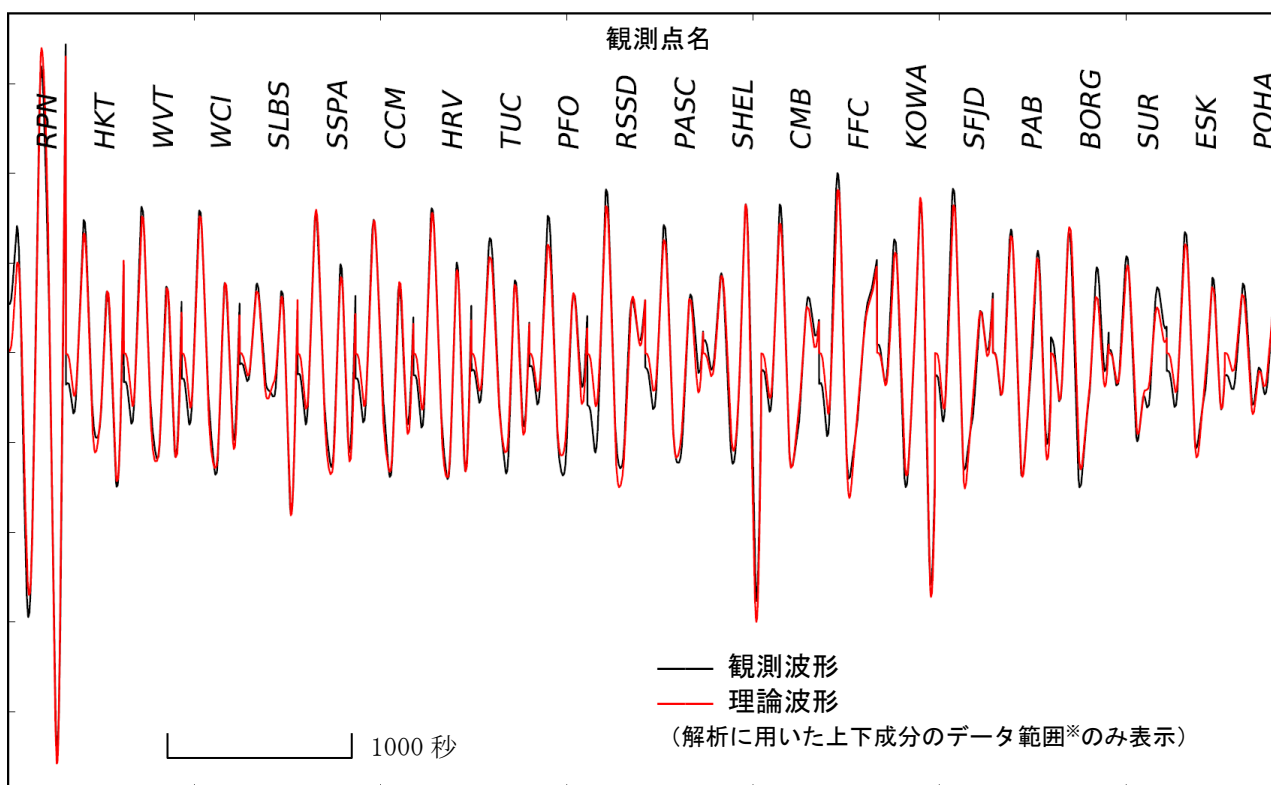


2015年11月25日07時45分(日本時間)にペルー／ブラジル国境で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、 M_w とも、Global CMTなどの他機関の解析結果とほぼ同様であり、 M_w は7.5であった。なお、W-phaseの解析で求めた震源は $S10.5^\circ$ 、 $W71.0^\circ$ 、深さ601kmとなった。

W-phaseの解析では、震央距離 $10^\circ \sim 90^\circ$ までの22観測点の上下成分、9観測点の水平成分を用い、100~300秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とはP波からS波付近までの長周期の実体波を指す。

M_w	M_0	断層面解1 (走向/傾斜/すべり角)	断層面解2 (走向/傾斜/すべり角)
7.5	$2.39 \times 10^{20} \text{Nm}$	$351.3^\circ / 40.1^\circ / -79.8^\circ$	$158.1^\circ / 50.6^\circ / -98.5^\circ$



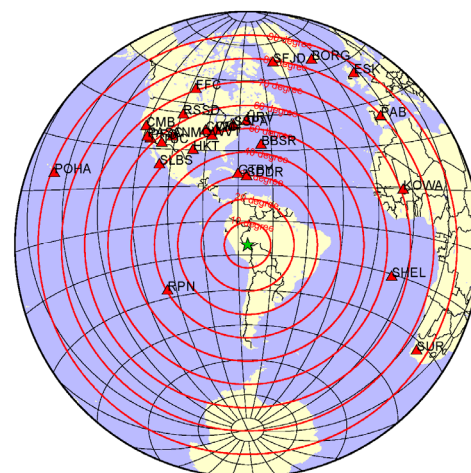
※各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phaseに関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

解析データには IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置

気象庁作成